



いもにかい

実施日：令和6年10月23日

対象児：全園児



芋煮会の由来

芋煮会の由来は、1600年代半ば頃の江戸時代遡ります。山形市の中山町長崎付近に船着場があり、近くには里芋の名産地がありました。船頭たちが荷物の引き取りの人が来るのを待つ間、退屈しのぎに近くの老松に鍋をかけて、里芋と積み荷の棒ダラなどを煮て食べたことが芋煮のルーツと言われています。



芋煮会は2～5歳児が携わり豚汁作りをしました。畑で育てた2歳児の人参、5歳児の里芋も収穫して使いました。2歳児はしめじさき、3歳児は白菜ちぎり、4歳児はこんにゃくちぎり、5歳児は大根とにんじんを包丁で切り、芋煮汁が完成です。大きな鍋でつくる過程を見たり、野菜の葉クイズをしたり、楽しい時間を過ごしました。3歳児以上はおにぎり作りにも挑戦し、混ぜ込みご飯や好きな具を選び優しく気持ちを込めて作りました芋煮会「いただきます」が響き、沢山の話し声と笑顔がみられました。 園長 小川

Menu

<p>おにぎり</p> <p>さばの塩焼き</p> <p>ほうれん草の磯和え</p>	<p>芋煮汁</p> 
--	--




